

一般

質問

布施谷川改修事業推進について

質問 県の計画では、50年もかかると言っているが、普通河川改修事業ではなく、重要河川改修事業とすることができないのか。

答弁 布施谷川は、堤防の決壊がな... ため、社会資本整備総合支援事業で行っている。今後、国議員を通じて早期改修の要望活動を行いたい。

質問 布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会の内容について、布施谷川と新川の連絡樋門を開門した場合の水位の変化や布施谷川上流部を改修すると下流部の流量が増えることについては間違っているか。また、ハード事業も検討する必要があるのではないか。

答弁 布施谷川と新川の水位には疑問を持っている。ハード事業の検証を要請していきたい。

土木行政について

質問 自治会要望の道水路改良事業

答弁 安全性はしっかりと確認されているので大丈夫である。独り善がりにならないように安全性を担保し、結果を公表していきたい。

質問 今後、被害が出た時のために地元自治会と公害防止協定の締結が必要ではないか。

答弁 何かあれば速やかに地元にお知らせするので必要ない。

質問 最終処分場の地下水の塩化物イオンが100倍以上、電気伝導率は10倍以上の異常値である。原因は何か。

答弁 原因の特定が可能かどうかは専門家に相談していきたい。

再生可能エネルギーの取り組みについて



新潟県の再生可能エネルギーの取り組み(メガソーラー)

費の増額はどうか。

答弁 自治会要望に十分応えられていないが、毎年度の予算編成の中で見極めていきたい。

衆議院議員総選挙の争点について

質問 TPP、外交に対する市長の考えはどうか。

答弁 TPPへの参加は避けて通れないと思う。外交防衛については、米国の中心の日本の安保体制が軸となること。

ハード整備について

質問 橋、道路の長寿命化と三条庁舎の整備見直しはどうか。

答弁 昨年度に長寿命化修繕計画を策定した。計画的な定期点検、修繕を実施していきたい。

三条庁舎の耐震診断を実施し、1.5値は0.35から1.26であった。引き続き補強をしていく。

質問 県が行う屋上メガソーラー推進事業に三条市は参加するの。

答弁 公共施設や小中学校の21施設を対象に調査を進めていく。

第一中学校区小中一体校開校準備について

質問 ひとつしても外せない一体校ならではの教育とは、どういった取り組みか。

答弁 日々の子どもたちの触れ合いの中で、自分の存在感を感じることを。

質問 小学五、六年と中学一年のつながりのある行事を基本としているが、児童会、生徒会行事とのすみ分けはできるのか。

答弁 縦割り班による活動や運動会の競技種目、文化祭の共同展示等を考えていく。

質問 乗り入れ授業の効果と狙いは何か。

答弁 小、中学校双方の指導法を学び、考えることで指導力が向上する。

質問 担任制をどう考えているのか。

答弁 小学五、六年の可能なところで教科担任制とし、中学校への移行をスムーズにする。

通学路の安全対策について

質問 通学路の要望把握と第一中学校区小中一体校の通学路計画はどうか。

答弁 二丁の把握は、学校がPTA等と連携し、改善要望書を取りまとめている。また、春の京都府亀岡市等での事故を受け、国の全国斉点検が8月末までに完了した。小中一体校は、開校準備委員会において、主要通学路案が了承され、具体的な整備計画を検討している。



通学時間帯に交通量が激増している通学路(上林小学校前)

障がい者福祉について

質問 三条市の現状と課題解決への取り組みはどうか。

答弁 65歳以上の方が50%を占め、高齢化がかなり進み、就労では支援事業を利用して一般就労につな



第一中学校区小中一体校建設現場

介護保険について

質問 法が改正され、24年4月から施行されたが、影響は出ていないのか。

答弁 利用者のニーズに応じてサービスを提供しており影響はない。

質問 低所得者への減免制度の周知方法はどうか。また、高額住宅福祉サービスへの応援はどうか。

答弁 広報ホームページへの掲載や事業所等へ周知している。居宅の方のサービス超過分について、支援は行わない。

環境行政について

質問 小型家電リサイクル法が来年4月に施行となる。今後のリサイクル

がっていない。また、高齢化対策や経済的自立、社会参加のための環境整備などが課題である。課題解決に向けて、核となる4法人による検討部会を設置し、方向性を共有した中で検討を進めている。

震災瓦れきの受け入れについて

質問 試験焼却の日に市民団体も放射線量を測定したが、焼却中の放射性セシウムが全て上昇したことの見解はどうか。

答弁 変動幅の範囲で安全は確認されている。



岩手県大槌町の震災がれき

質問 受け入れ撤回を求める嘆願書と5054人分の署名の提出をどう受け止めているのか。

の取り組みはどうか。

答弁 小型家電は不燃物として、スリーション収集を実施しており、不燃物量は、1602トンである。今後は処理ルート の確立を含め、調査検討を始めた。

公共施設へのLED照明導入について

質問 リース方式による街灯のLED照明導入はどうか。

答弁 昨年度は部の64灯を設置した。今年度は全てLED化している。現在、全市的な取り組みを検討している。

質問 庁舎の設置状況はどうか。

答弁 三条庁舎は46.3%である。他の庁舎を含めた全体では15.8%である。今後は節電を推進するため、計画的に順次改修する。

骨髄バンクドナーについて

質問 ドナーに対する支援を検討できないか。

答弁 広い視野で事業目的、効果を考えたい。ドナー登録の啓発は、各機関と協力し取り組みたい。

防災対策について

質問 9月に全国瞬時警報システムの全国斉伝達試験が行われた。その際に不具合があったが原因は何か。